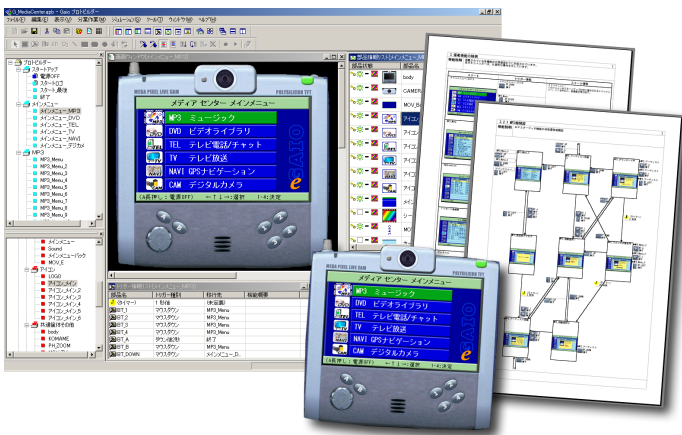


プロトビルダー 5.3 HMI仕様・プロトモデル設計ツール

プログラミングスキルを必要としない 簡単操作の製品仕様作成ツール HMI仕様作成者とソフト開発者のコミュニケーションを円滑にします

プロトビルダーは、製品開発の前に、実際の製品イメージを用いて製品仕様の完成度を高める、製品仕様・プロトタイプングツールです。HMI仕様設計者とソフト開発者とのコミュニケーションを円滑にし、ソフト開発に入ってからの手戻りをなくします。作成した動作モデルを使用して、製品の使いやすさ(ユーザビリティ)評価を可能にするオプション製品「GAP FINDER」との連携もサポートしています。



ユーザを選ばない「ワープロ・お絵かきツール」の感覚

プロトビルダーは、開発する製品の動作仕様を設計するための統合ツールです。製品の状態を「紙芝居形式」で設計していく分かりやすい考え方をもち、製品動作の設計にもプログラミングの知識は全く必要ありません。ワープロ感覚で製品のGUI画面に文字を書き込み、必要なアイコンなどをビットマップファイルから貼り付けるだけの簡単な操作性が特徴です。製品企画担当者が、思いついた仕様をそのまま直感的に作成していくことも十分に可能です。

ビットマップを貼り付ける



テキストを書き込む



完成度の高い仕様書は、開発の手戻りをなくします

製品における不具合の原因の多くは、その仕様にあるといわれています。仕様の不備は、無駄な「手戻り」を多く発生させ、開発効率化の最大の障害となります。

ソフト開発の前の段階で、製品仕様の完成度を可能な限り高めておくことが、開発プロジェクトをスムーズに進行し、不具合のない顧客満足度の高い製品作りを可能にする最大のポイントです。

プロトビルダーは仕様作成・受け渡しを効率化し 仕様設計者とソフト開発者のコミュニケーションを円滑にします

プロトビルダーは、実際の製品のイメージ通りに動作する仮想的なモデルを作成可能なプロトタイプングツールです。作成した動作モデルを仕様書として受け渡すことで、仕様設計者が意図した内容を正確に伝えることが可能となります。

他部署、協力会社、海外のスタッフとの仕様のやり取りを円滑化し、確実な製品開発を可能にします。

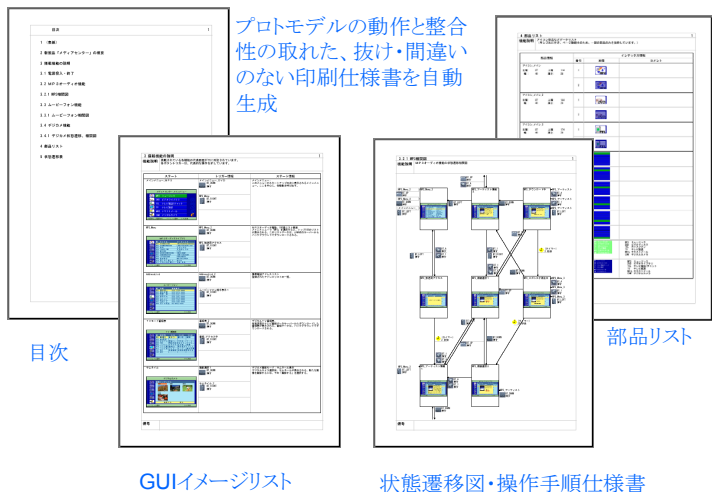
プロトビルダーは、顧客満足度の高い製品作りを可能にします

製品開発の前に、プロトモデルの製品動作を体感させることで、各部門やエンドユーザからの要求を、具体的な形でいち早く製品開発にフィードバックすることができます。また、プロトモデルを使用して、最小限のコストで、作成した製品モデルの使いやすさを評価することも可能です。

プロトモデルから間違いのない印刷用仕様書を自動作成

プロトビルダーで作成したモデルから、状態遷移図をベースにした操作手順仕様書や機能仕様書を一括して作成することができます。目次、状態遷移表、機能毎の状態遷移図、使用部品の一覧表など、製品設計のための仕様情報を一冊の仕様書の形で自動作成します。

これらのドキュメントは、動作を確認したプロトモデルから機械的に作成されるため、記述ミス、抜け、間違いといったペーパードキュメントにありがちなミスは、原理的に起こりません。



目次

GUIイメージリスト

状態遷移図・操作手順仕様書

部品リスト

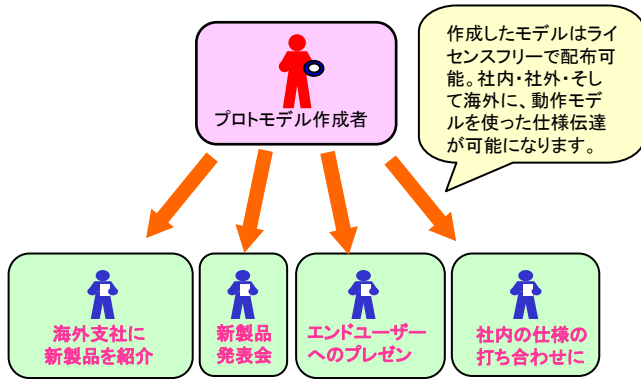
プロトモデルの動作と整合性の取れた、抜け・間違いのない印刷仕様書を自動生成

再生専用 プロトプレイヤー

作成したモデルを誰でも閲覧可能な「プロトプレイヤー」

作成した製品モデルを配布して、自由に閲覧するために、再配布可能な閲覧・再生専用アプリケーション「プロトプレイヤー」を用意しています。作成したモデルを閲覧するだけであれば、プロトビルダーのライセンスは必要ありません。

プロトビルダーには、日本語版/英語版のプロトプレイヤー再配布ライセンスが含まれています。他部署、国内の協力会社、海外の支社など、動作モデルを用いた仕様のやり取りを可能にします。

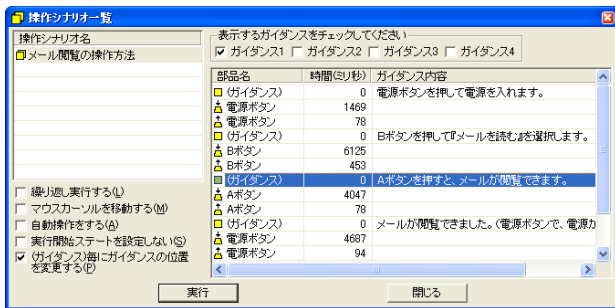


配布モデルの使用方法を分かり易く示す「ガイダンス」機能

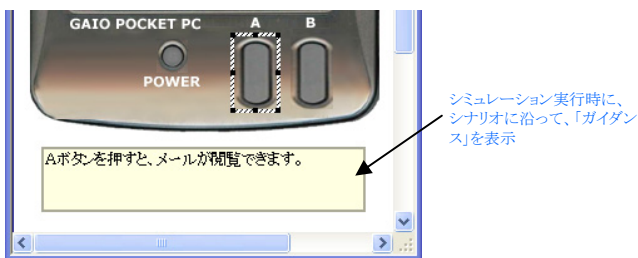
「ガイダンス」機能とは、モデルを配布する際に、操作方法を知らない相手の場合でも、仕様を分かりやすく伝えるための機能です。モデル作成後に、提示したい操作手順をシナリオ化して、各シーンに、その操作方法を説明する「ガイダンス」メッセージを追加することができます。シナリオは、動作モデルを実際に操作して、操作ログを記録するだけで作成できます。

シミュレーション時には、シナリオ通りの操作しか受け付けられない設定ができるため、相手に対して明確に操作方法を提示することができます。

遠隔地や海外など、その場で製品モデルの使用方法を説明できない状況では、非常に役に立つ機能です。



操作手順をシナリオ化(シナリオ作成は 動作モデルを操作して手順を記録)



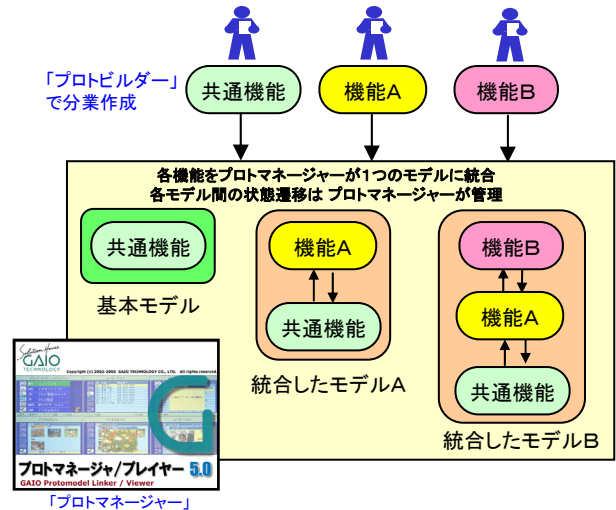
モデルを統合する プロトマネージャー

機能単位のプロトモデルを自由に組み合わせ可能 シリーズ製品モデルの作成や 分業作業を容易にします

「プロトマネージャー」は、プロトビルダーで機能単位で作成した動作モデルを自由に組み合わせ、機能を統合した新しいモデルを作成するための機能モジュールです。

プロトマネージャーは、各々の機能モデルには変更を加えず、相互の状態遷移情報のみを追加する仕組みとなっています。下の例では、プロトビルダーで「共通機能」モデルを修正すると、それを含むすべての統合モデルに反映されます。

機能の一部だけが異なるシリーズ製品モデルの作成や、機能単位にモデルの作成を分担作業する場合など、運用の幅を広げます。

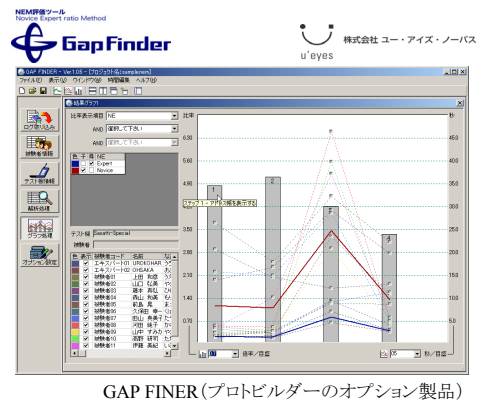


ユーザビリティ評価ツールとの連携

ユーザビリティ評価ツール「GAP FINDER」と連携

ユーザーインターフェース(UI)仕様設計の早期の段階で、製品の操作性・使いやすさを評価し、その結果を開発にフィードバックできれば、顧客満足度(CS)の高い製品作りが可能になります。

プロトビルダーは製品モデルの操作ログを出力する機能を備えています。このCSVデータを、NEM手法によるユーザビリティ評価ツール「GAP FINDER」(開発元: ユー・アイズ・ノーバス 販売元: ノーバス)で解析することで、製品の使いやすさを定量的な数値、グラフで出力することが可能です。



ガイオ・テクノロジー株式会社

日本橋事業所 営業部
〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町3-12-8
TEL.03-3662-3041 FAX.03-3662-3043
E-mail: info@gaio.co.jp URL: http://www.gairo.co.jp/

2005.03.15

代理店